

## 会津若松市地域公共交通計画（案）への意見募集結果

標記計画の策定にあたり、案に対する市民意見公募（パブリックコメント）を実施しました。その結果及びお寄せいただいたご意見に対する市の考え方をお知らせいたします。

### 1 意見募集期間

令和4年1月31日（月）から令和4年3月1日（火）まで

### 2 提出意見

2名の方から3件のご意見がありました。

### 3 意見の内容及び市の考え方

No.	項目	意見の内容	市の考え方
1	具体的な取組のご提案	高齢者運転免許の返納支援制度の改善について、高齢者の運転でアクセルの踏み間違いが多く、交通事故の要因となっており、免許証返還で高齢者のお出かけの足がなくなり、補完するのが公共交通網頼りとなります。重要な公共交通となります。	運転免許証を自主返納された方への支援については、会津若松商工会議所が「自主返納支援制度」を推進しており、返納者が交通機関を利用しやすくなるよう、各交通事業者において、運転経歴証明書の提示による独自の割引サービス等が行われております。市としても引き続き、それぞれの地域特性に応じた公共交通空白地域への対応を図り、「暮らしの足」の確保に努めていきます。（施策①-1及び②-1）
2	具体的な取組のご提案	計画の基本的方針と目標は1から4まで。具体的施策は①から⑥まで計画されています。特に施策③-2「中心部のサービス向上」策について、利用環境の改善として、新たなスマートフォン技術を活用した移動手段の導入が必要。今後は高齢者にスマホアプリの指導と習得を要望いたします。 (1)支払い方法の改善 (2)AI オンデマンド交通	令和2年度に会津 SamuraiMaaS プロジェクト協議会（以下「SMP 協議会」）として実施した AI オンデマンド交通の実証運行では、対象地域の金川町・田園町の方々にスマホアプリに慣れ親しんでいただくため、スマートフォン教室を開催し、住民の方々が参加しやすい環境を整えました。  また、ICカード・QRコード等による支払い方法（施策⑤-3）や多様な交通手段等をつなぐ MaaS（施策④-4、

		<p>(3)MaaS  上記(1)は、地域独自の交通 IC カードの導入及び QR コード利用による支払い方法の改善を。上記(2)(3)は、スマホアプリで地域交通機関による対応活用。(上記(2)の実証運行はいかがでしたか。)</p>	<p>本計画(案)P11 参照) への対応についても、一部の交通事業者や SMP 協議会で実施もしくは検討を進めているところであり、今後も引き続き、地域の公共交通機関によるスマホアプリなどの導入と利用者による利活用を積極的に推進していきます。</p>
3	具体的な取組のご提案	<p>計画の施策③で、既に中心部の幹線軸を形成し通勤通学に対応しており、今後の「幹線軸」の維持及び利活用向上を図るため、乗り継ぎ運賃や共通フリーパスなどを想定しています。</p> <p>私の提案は、中心部の市役所や合同庁舎、電力・電話会社、銀行などの多くの従業員が積極的に公共交通を利用すれば、神明通りや鶴ヶ城周辺は歩く人が増え、まちに賑わいが生まれると思います。また、それが模範となり市内外へ広がっていけば、もっとスマートシティやゼロカーボンシティへ近づくことができるのだと思います。</p> <p>一方で、市役所や大手企業のお客様窓口へ車で来訪いただいた方へ駐車券サービスを行うのと同じように、公共交通を利用してきた方にも運賃割引やまちのお買い物ポイント券などの特典があると、もっと相乗効果が出ると思います。</p>	<p>まちの賑わいの創出、そしてスマートシティやゼロカーボンシティの実現に向けては、車から公共交通への転換が不可欠であり、企業への働きかけなどにより、エコ通勤をはじめ積極的な公共交通の利用促進を図るとともに、中心拠点・乗継拠点の利便性の向上や車両の見直しなどを進めていきます。</p> <p>(施策④-1、⑤-2、⑥-2)</p> <p>また、会津 SamuraiMaaS プロジェクト協議会との連携により推進している公共交通利用と目的地をつなぐ MaaS の仕組みを積極的に活用し、観光交流や購買・地域活動など、異業種や多様な主体とも連携しながら、運賃体系や各種割引制度などについても検討していきます。(施策④-4、⑤-3、⑥)</p>